

今津赤だより

VOL.20

2014年夏号

目 次

2014年度 新年度を迎えて	1
新任ドクター紹介	2
ナースのまど(病棟紹介)	3
生活習慣病予防健診はじめます	4
患者サービス向上委員会の取り組み	5
お花見会	
第4回 連携先リレー紹介	6



* 病院理念 *

* 基本理念 私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

* 基本方針 1.地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

2.全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

3.医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。



今津赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2014年度 新年度を迎えて

～ 診療報酬改定を踏まえて～

2014年度(平成26年度)は、診療報酬改定の年であります。消費増税を前提とした論議がなされ、その改定の基本方針は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けた、医療と介護のあるべき姿「2025年モデル」を視野に入れた、「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実」に焦点が絞られたようです。結果、全体では0.1%のプラス改定となりましたが、特別措置分(消費増税補填分)を差し引くと実質的には1.26%のマイナス改定となりました。

また、医療のあり方も、従前の「病院完結型」から、患者さまのQOL (Quality of Life)向上をベースとした、住み慣れた地域や自宅での生活のための医療、地域全体で支える「地域完結型」の医療へ転換しつつあります。

そのような中で、当院は西区唯一の公的病院として、また高齢者と認知症患者を専門とする赤十字病院として、地域ネットワークの、どの役割を担い、どう関わって行くか、その方向性を決めて行くための重要な年度と考えております。

その初年度として、平成26年度は次の3つの事業にチャレンジいたします。

①障害者病棟の拡充(難病対策の強化)

当院では、脊髄損傷やパーキンソン病、多系統委縮症などの神経難病の方を受入れる障害者専門病棟(38床)を有していましたが、現状数では地域の要請に対応できなくなつたため、一般内科病棟(52床)と転換し、増床することで地域ニーズに速やかに対応することいたしました。

②訪問看護ステーションの拡大(在宅医療の強化)

「医療から介護へ」、「病院・施設から地域・在宅へ」と方向性が示されるとともに地域包括ケアシステムの構築が進められています。介護と医療を必要とする高齢者を地域で支えていくため、当院では、訪問看護、訪問リハビリテーション事業を福岡市西区中心に展開していましたが、施設が不足する近隣の糸島地区などからの強い要請があるため、今後は地域の中核となる強化型訪問看護ステーションへ転換するなど、徐々に拡大することで在宅医療にも積極的に取り組むこといたしました。

③生活習慣病予防健診病院の指定(健康の維持増進)

かねてからの懸案事項でありました、生活習慣病予防健診病院の指定を受けましたので、平成26年5月より開始し、指定病院が不足する福岡市西区周辺地域のみなさまの健康の維持増進、疾病予防や早期発見等に努めます。

新年度にあたり、これからも公的医療機関である赤十字病院としての使命を忘れず、地域のみなさまや高齢者の方々が、住み慣れた地域や在宅で安心して暮らし続けられるために、今津赤十字病院は「全職員でサポートする!」という強い決意で臨んで参ります。



事務部長
さいとうあきのぶ
西藤彰信

新任ドクター紹介

4月より赴任して参りました市島久仁彦と申します。平成22年4月より1年間お世話になりました後、九州大学病院、門司掖済会病院に勤務し、再度異動して参りました。専門分野は、高血圧症を中心とした循環器疾患ではありますが、内科疾患全般に対応しております。

今津赤十字病院は、病気の急性期・亜急性期～慢性期における治療をはじめとして、リハビリテーションによる自立支援等にも関与し、退院後も地域医療や介護福祉等との連携にも意欲的な施設であると考えております。また、高齢者の方々は色々な疾患有している事が多く、疾患に対する幅広い知識が求められるものであり、高齢者医療の重要性を日々実感しております。

甚だ微力ではありますが、皆様のお役に立てますよう勤務していくつもりですので、どうぞよろしくお願ひいたします。



内科医師
いちしま くにひこ
市島 久仁彦

はじめまして、平成26年4月より精神科に勤務させていただいています牧 篤と申します。私は九州大学病院で前期研修を行いました、昨年度は九州医療センターの精神科に勤務していました。このような自然に囲まれた環境で仕事ができることを大変嬉しく思っています。精神科病床は認知症の患者さんが多く、身体合併症があつて治療に難渋することがありますが、部長の田中和宏先生をはじめとする温かなスタッフに支えられて仕事をさせていただいている。

昨年度は急性期を中心の病院でしたが、自然豊かな環境で地域に密着した医療ができるように他の診療科の先生方とも連携して日々診療に励みたいと思っています。不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんがあつしうましくお願いいたします。



精神科医師
まき あつし
牧 篤





ナースのまど



～1病棟が新しくなりました～

1病棟は障害者施設等病棟という福岡県下でも数少ない機能を持つ病棟です。以前は3病棟でしたが、昨今、この病棟機能に対する地域医療からのニーズが高まっており、そのニーズへの対応と地域貢献を目指すべく2月に病棟転換されました。それにより有床数は38床から52床へと増床、神経難病・特定疾患等の対象患者様の受け入れがいつでも円滑にできるようになりました。また、増床を受けて、看護スタッフも増員し、現在看護師27名、ケアワーカー4名体制で新1病棟として再稼働しております。



障害者施設等病棟とは、パーキンソン病やALSなどの神経難病を有する患者様が7割を占める病棟です。体の向きを変え、痰の吸引をするなど、昼夜問わず、きめ細やかな看護や介護を必要とされる患者様が多く、お一人お一人の個別性を重視したケア提供が必要です。また、神経難病の患者様の中には、コミュニケーション障害を有する方もおられ、文字ボードや、まばたきで返答される等、多様な方法で意思疎通を図ります。

時間はかかりますが、発せられる一文字、一言の言葉をじっくり聞き取っていく中で、病気に対する不安や痛みなどの苦悩を知り得ることはもちろんのこと、それぞれの人生を一生懸命前向きに考えながら過ごしておられる患者様も多い事に気付きます。私たちは少しでもベッドサイドへ行きその思いを引き出し、長い療養生活の中で心身共に寄り添いながら、その人らしさを大切に過ごしていただきたいと願い、医療と看護の提供に努めたいと考えます。

また、ご希望に応じ医師、MSW、リハビリなど他職種とも協働し、療養支援、退院支援も行っています。その一環として病棟の設備やロケーションを利用してご家族との時間を有意義に過ごしていただけるよう配慮した療養環境づくりを行い、QOL（生活の質）向上ができる病棟運営を目指したいとスタッフ全員、全力で取り組んでおります。今後とも新しい1病棟をよろしくお願ひいたします。



■1病棟

障害者病棟 52床 10：1入院基本料

入院対象の方は、パーキンソン病などの神経難病の方、重度の肢体不自由の方、脊髄損傷などの重度障害の方、重度の意識障害の方で、長期的な治療・リハビリ・看護を行う病棟です。

入院期間は定めておりませんが、ご自宅への退院の準備が整った方や他施設での対応が可能な為、転院の望ましい方にはご退院のお手伝いをさせて頂いております。

■2病棟

精神科一般病棟：認知症専門病棟 60床

高齢者の認知症専門の病棟で、認知症専門相談医が常勤しています。

病棟は、閉鎖病棟で、入院されている方のほとんどが、認知症コントロールを目的に入院加療されています。医師・看護師・リハビリ・精神保健福祉士等スタッフが一丸となって安心して生活できるよう支援しています。

■3病棟

一般病棟・地域包括ケア病床 38床

(一般病棟 10：1入院基本料 24床 地域包括ケア病床 14床)

急性期病院からの継続療養・リハビリ、在宅・施設からの急性期治療・リハビリを行い、社会復帰を目指す病棟です。地域包括ケア病床は、亜急性期病室より転換した病床で、急性期の治療が終了した方が在宅復帰等へ向けて、経過観察やリハビリを行います。ただし、この病床は、入室後、最長60日以内での退院が原則となります。

■5病棟

介護療養病棟：介護保険 30床

介護療養型医療施設は、急性期の治療が終わり病状が安定したものの、長期間の治療が必要な方が対象で医療や看護などを受けられ、介護の体制が整った医療施設です。

要介護1以上の要介護認定を受けた方が入所することができます。



1病棟 看護主任
みやざきちか
宮寄千賀

平成26年5月より 生活習慣病予防健診 をはじめます

みなさまより、開始してほしいと要望が高かった「生活習慣病予防健診」を今年5月より開始する事になりました。これから当院は、脳卒中・認知症の専門治療だけでなく、予防医学への分野も積極的に取り組んでまいります。

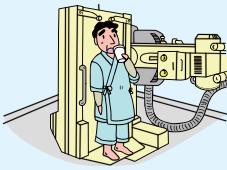
単独でできる健診

① 一般健診(35~74歳)

【おもな検査】血液検査・胃透視・心電図検査など

自己負担額
最 高

7,038円



② 子宮頸がん検診(20~38歳)

【対象者】偶数年齢の方

【おもな検査】問診・細胞診

自己負担額
最 高

875円

①とセットでオプション検査

* 付加健診(40・50歳)



【おもな検査】

眼底検査・腹部エコー検査・肺機能検査など

自己負担額
最 高

4,714円

* 乳がん検診(40~74歳)

【対象者】偶数年齢の女性の方 【おもな検査】触診・マンモグラフィー検査

40歳~48歳の方

自己負担額
最 高

1,655円

50歳以上の方

自己負担額
最 高

1,066円

* 子宮頸がん検診(36~74歳)

【対象者】偶数年齢の女性の方

【おもな検査】問診・細胞診

自己負担額
最 高

875円

* 肝炎ウイルス検査

【対象者】

過去にC型肝炎検査を受けた方は、受診不可

自己負担額
最 高

612円

※乳がん検診・子宮頸がん検診は、委託医療機関での受診となります。

ご予約・お問い合わせは、【今津赤十字病院 地域医療連携室】**092-806-2111**まで

患者サービス向上委員会の取り組み

5病棟
介護福祉士
まつ お さち え
松尾 幸恵

皆様、こんにちは。私たちは、今津赤十字病院の患者サービス向上委員会です。患者様により良いサービスを提供させていただくため、活動しています。

主な活動内容として、月に一度、各部署の担当スタッフが集まり、院内各部署に設置されている『声の箱』にいたいた皆様の声を元に話し合いを行っています。

●例えは今まで一番多くいたいたご意見で『薬の待ち時間がかかる。』とのご意見をいただき、その対応策として平成25年6月よりお薬の引換券（処方発行時間～受け渡し時間を記載）を発行させていただいております。

●「声の箱」は、一階正面玄関を入り、左手の自動販売機横と、各部署に設置されています。できる限り対応させていただきますので、お気軽にご意見をお寄せください。



先日は、当院ご利用の外来・入院・施設など全対象で患者家族満足度調査を行い、その際にはたくさんの貴重なご意見とご協力、誠にありがとうございました。満足度調査の結果は、一階正面玄関に設置している『声の箱』に掲示していますので、目を通してください幸いです。今回の患者家族満足度調査でいたいたご意見を検討し、更なる患者サービス向上を目指してまいります!!

また、3月12日には全職員対象で、接遇研修会（テーマ「患者さんの情報提供のあり方」）を行いました。

今後とも、皆様のご意見よろしくお願ひいたします。

お花見会



敷地内にある多田公園の桜の花が満開となり、柔らかな春の日差しがうれしい季節になりました。5病棟では恒例の花見を行い、患者様の体調に合わせて車いすやベッドでお散歩をしました。病室を出て風と太陽の光を感じ、いつもとは違う患者様の明るい表情が見られたり、目を凝らして桜を鑑賞されてある方もいらっしゃいました。また、ご家族にも声掛けを行い一緒にお散歩をして頂く事で、楽しい時間が過ごせたのではないかと思います。

第4回 連携先リレー紹介

当院では、地域貢献として、地域にある介護保険施設との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各施設の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第4回目は、特別養護老人ホーム マナハウスさん、有料老人ホーム スターフィールドさん、グループホーム 田尻の里さんです。

特別養護老人ホーム マナハウス

施設長 村上 博 様

西区戸切にあります全室個室ユニット型の施設「特別養護老人ホーム マナハウス」と申します。

ユニット型の施設は入居者一人一人の尊厳を重視し、個人の自律を尊重するために、10人のグループを1つのユニットとし、それぞれを1つの生活単位として、少人数の家庭的な雰囲気の中でケアを行うのが特徴です。個室のため、個人のプライバシーが確保されやすく、ご家族も気兼ねすることなく面会ができます。また、少人数単位で生活されているため、他者や職員と馴染みの関係が作りやすいというメリットがあります。

平成16年10月に「今までの生活(くらし)をそのまま続けられる施設」「生きることを喜べるケア」を目指して開設し、おかげさまで今年の10月に10周年を迎えます。今津赤十字病院をはじめとした医療機関や介護事業所、行政、関係機関、そして地域の皆様と連携を図り、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できる、地域包括ケアシステムの一環を担うことができるような施設を目指して、今後も努力してまいります。



有料老人ホーム スターフィールド

施設長 坊薙 晋 様

『地域に根ざした 最高 最良の介護を 目指します』という理念の下「有料老人ホーム スターフィールド」は西区の今津で活動をしています。(平成21年2月1日開設)

5年前にこの歴史ある西区の今津の地にご縁があり「入居定員41名 隣接 デイサービス定員45名 ケアプランセンター ヘルパーステーション」のある住宅型の複合施設として開設しました。

私達、スターフィールドは ご入居者・ご利用者様は勿論ですが、地域に根ざし如何に貢献できるかを常に考え行動しています。また、スターフィールドの職員は 出会った方々とのご縁をとても大切にし、介護という枠を超えて人と人との繋がりをとても大切にします。地域の方々はじめ、特に 今津赤十字病院さんには とても支えられて、開設6年目を迎える事ができました。職員一同 深く感謝致しております。

今後も、地域の方々のお役に立てるよう各医療機関・各事業所様とのより良い連携に努めて参りますので「有料老人ホーム スターフィールド」を宜しくお願い致します。



グループホーム 田尻の里

施設長 福田 雄一 様

私達は、ご入居を通じて高齢者の方が「好きに暮らして、明るく元気」をモットーに、認知症障害を有されても自分の思いが届き、尊ばれる毎日であるよう生活支援の在り方を願い、心がけています。

そのため障害緩和ケアとして、①正しく脳機能の状態を知り、②固有の欲求や意向、行動のモチベーション・心的背景を理解し、③認知機能の判断障害をサポートしながら、ミスマッチなコミュニケーションによる周辺症状である混乱等をもたらさないようなケアの提供を心がけたいと願っています。

協力専門医療機関である今津赤十字病院での認知症診断を経て、その方固有に認められる器質的な中核症状の傾向理解、判断障害や錯認、混乱や不穏、不安を緩和する処方を受けながら、可能な限り地域関係者との社会性を保つことを重要視し、定期的保育園児との交流や地域外支援、家族を始め地域の意見要望を反映した運営に努めています。



診療案内

- ◆診療科目／内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
- ◆受付時間／(月曜日～金曜日)午前8時30分～午前11時30分及び午後1時30分～午後3時30分
- ◆休診日／土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

今津赤十字病院 外来診療担当表

平成26年4月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診	砥上 妃美子	尾前・当番医	関 拓紀	橘 紗耶佳	市島 久仁彦	
		尾前 豪	藤井 弘二	藤井 弘二	藤井 弘二	橘 紗耶佳	市島 久仁彦	
		再診	納富 昭光	尾前 豪	市島 久仁彦	砥上 妃美子		
				古瀬 正徳				
	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	市島 久仁彦	関 拓紀	橘 紗耶佳	尾前 豪		
精神科	午前 (再診のみ)	田中 和宏	牧 篤	勝治 一夫	田中 和宏	牧 篤		
	午後 認知症外来 (新患・予約制)	田中 和宏	田中 和宏	田中/勝治	田中 和宏	田中 和宏		
		牧 篤	牧 篤	牧 篤		牧 篤		
						デイケア のみ		デイケア のみ

交通アクセス

◆JRでのアクセス

- JR九大学研都市駅下車の場合
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。
(下記時刻表を参照ください)

- JR今宿駅下車の場合
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩10分

◆お車でのアクセス

- 西九州自動車道今宿ICより約10分



無料送迎バス

◆送迎時刻表／ JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
病院→JR九大学研都市駅南口前		8:55	9:35	10:15	10:55	11:30	12:15	12:55	13:35	14:15	14:55
JR九大学研都市駅南口前→病院		9:15	9:55	10:35	11:20	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:15
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	—	○	—

※平成25年11月8日改正



JR九大学研都市駅南口前です。



今津赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒819-0165 福岡市西区今津377番地
TEL(092)806-2111(代表) FAX(092)806-2314
ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/>

広報誌／今津日赤よりvol.20
発行日／平成26年5月8日
発行責任者／藤井 弘二
編集委員長／西藤 彰信
発行／今津赤十字病院



表紙写真／病院前での潮干狩り風景